

ベトナム市場での根室産水産物に対する認知度や信頼性の向上のための
情報発信について

平成22年11月5日
根室市総合政策部

根室市と根室市アジア圏輸出促進協議会（構成：根室水産協会、根室商工会議所、各漁業協同組合、根室市）は、先に根室市を訪問した“ベトナム政府ミッション”の報告書が同国内で広く紹介されていることを確認しました。

本件は、ベトナム市場での根室産水産物に対する認知度や信頼性の向上が図られるよう、10月6日から9日までの日程で根室市に招聘した同ミッションとの合意に基づくものであり、農業農村開発省のホームページをはじめ、輸出入組合の関係出版物等に掲載されるなど、ベトナム国内の海産物輸出入事業者等に広く情報の提供が行われました。

今後とも、根室産水産物の輸出などの直接的な商談等に対する支援はもとより、こうしたベトナム国内での間接的な広報戦略にも取り組んで参ります。

なお、報告書の内容は以下のとおり。（日本語翻訳）

記

1 タイトル

－ 日本最大の漁業産地のひとつ － 根室市

2 記事の筆者

ゴー・クアン・トウ (Ngo Quang Tu)

ベトナム農業農村開発省農林水産塩加工貿易部

3 主な掲載先

ベトナム農業農村開発省ホームページ、ベトナム輸出入組合ホームページ、
ベトナム水産加工研究所ホームページなど

4 内容

－ 2010年10月19日付け －

ベトナム農業農村開発省は、根室市長の招聘を受けて水産総局副局長ファム・アイン・トゥアン (Pham Anh Tuan) 氏率いる訪問団を同市に2010年10月6日から10日までの日程で派遣した。

今回の目的は、現地の水産施設等の視察や意見交換等を通じて、我が国と日本の東端に位置する“北海道根室市”との間で、水産物の生産や加工及び販売分野における協力の促進と、体制の強化を図ることを狙いとしている。

筆者は、以下、一行のメンバーの一員として根室市の産業について紹介する。

根室市は、ロシア連邦のサハリン諸島に近く、人口3万人弱の日本最東端の街で

ある。主要産業は水産業で、就労人口の70%がこれに従事している。漁業生産高は、年間で12万～15万トンであり、漁獲される魚種は主にサンマ、サケである。水揚げ取扱高は、金額ベースでは国内で5位、数量ベースでは国内9位である。水産業のほか根室市では、広大な牧場での酪農業も行われている。さらに、白鳥、鹿など自然動物などの豊かな資源に恵まれた街である。

根室市の水産業を巡るインフラ整備は、非常に完成されており、100隻以上の漁船があるほか、全ての漁船は漁獲と鮮度保持のための近代的な設備を備えている。漁船の規模はほとんどが中型であり、300馬力の発動機付きの中型船は、洋上で迅速な操業ができる。とりわけ、船上に冷凍・冷蔵設備を完備している漁船も少なくない。根室港には二つの港区があり、一つは太平洋を臨む街の南にあり、もう一つはオホーツ海を臨む街の北にある。根室港は100年前から整備が行われ、二つの港区にはそれぞれ数キロメートルにわたって、漁船の出入港、水揚げ、資材の積載等の業務が円滑にできるよう十分な備えがなされている。港は、荒天の際に漁船が災害を避けることができるよう、港内で安全に停泊できる機能も備えている。漁場が近いため、操業時間（4～5時間）も短く、日帰りでの漁獲が可能である。したがって、漁獲コストも低く、港に戻るまで漁獲物の品質の低下もなく、その鮮度は非常に高く保たれており、鮮魚の水揚げが多い。

根室市内には、4つの漁業協同組合があり、漁業者に対して操業に必要な漁具、網、資材、保冷用粉碎氷、燃料などの供給、また、水揚げされた水産物の集荷・受入、運搬、仕分け・分別、入札などの一環したシステムを整えている。同組合の事業を維持する財源は、漁業者が生産した価格の販売手数料5%などから賄われる。

また、市内には20以上の近代的な水産加工場があり、最新の生産設備、工程（加工の全工程が機械化）が備わっている。根室市のサンマは、日本で一番美味であると有名であり、日本国内で最大の漁獲量を誇る産地として知られている。

水産加工製品も、数百種類と大変豊富で、例えば、冷凍製品、フィレ加工製品、イクラ製品、缶詰製品、刺身・すし類、乾燥製品、スモーク製品など、水産加工製品は様々な種類があり、高品質、かつ消費者の利便性を図ってきれいに包装しており、主に東京や大阪など日本国内へ供給されている。水産加工場の品質管理システムは、主に国際的に認定されるHACCPを適用しており、さらに、環境マネジメントシステムとしては、ISO-14001を導入している。

このように根室市は水産資源が非常に豊かな街であり、ベトナムとの間で以下の分野で協力することができると考えられる。

- 1 サンマ・サケ等の原魚を輸入し、ベトナム国内で加工した上で再輸出すること。
（根室の企業のために加工し、再輸出する）

- 2 サンマ・サケ等の原魚又は加工製品を輸入し、ベトナム国内で加工した上で、ベトナム国内の市場へ供給すること。
- 3 根室市内の漁業協同組合などの組織運営を学び、それをベトナム国内で導入すること。
- 4 根室市内の水産加工場などへベトナム人研修生や実習生を派遣すること。
(根室市においてはこれまでベトナム人労働者の受入れ実績はない、又、現地の根室市では、各加工場で労働者の人手不足も生じている)

<協力のメリットについて>

- ・根室市民は、非常に誠実で友好的な人々であり、現地の水産加工企業は、ベトナムとのパートナーシップの構築を求めていること。
さらに、現時点で、根室市には他国の参入はなく、その点で優位性があること。
- ・根室市は、漁場が広く、又水産物の品質も高いなど、水産資源のもつ潜在力は非常に大きいこと。

<主な問題点について>

- ・近年、根室市の漁業生産高は減少傾向にあり、同時に円高も進んでいるので、日本からの水産物が他国の類似製品と比較して相対的に割高となる傾向があること。
- ・根室市の水産加工企業は、主として国内向けに生産、消費（販売）している。特に、これらの企業は加工・製造の業務を中心としており、輸出する場合には、東京都の商社等の大手企業を通じなければならない。したがって、値段が高くなる傾向があるほか、ほとんどの現地企業は、直接に輸出する経験がないのが現状であること。

最後に、ベトナム国内の企業と協力できるパートナーとして、根室市の主要企業を下記に紹介する。関心あれば参考として利用してください。

1) 永宝冷蔵株式会社

〒087-0001 北海道根室市北浜町1丁目9番地
Tel. 0153-23-6301, fax 0153-22-2314

2) カネ共三友冷蔵(株)

〒087-0055 北海道根室市琴平町3-38
Tel. 0153-23-5261, fax 0153-22-2176
<http://www.rakuten.co.jp-eiho.co.jp>

- 3) 株式会社カネヒロ
〒087-0055 北海道根室市琴平町 3 丁目 26
Tel. 0153-24-3419, fax 0153-24-8162
<http://www.nemuro-kanehiro.com/>
- 4) 株式会社兼由
〒088-1781 北海道根室市落石西 114 番地
Tel. 0153-27-2231, fax 0153-27-2522
<http://www.kaneyoshi.jp>
- 5) 事代漁業株式会社
〒087-0012 北海道根室市駒場町 3 丁目 18 番地
Tel. 0153-24-3311, fax 0153-24-3313
<http://www.k2.dion.ne.jp/~kotosiro/index.html>
- 6) 杉山水産株式会社
〒087-0046 北海道根室市岬町 2 丁目 8 番地
Tel. 0153-22-3463, fax 0153-24-6292
<http://shop.kk-sugiyama.co.jp/>
- 7) 太洋産業株式会社
〒087-0012 北海道根室市駒場町 3-8
Tel. 0153-23-6351, fax 0153-24-8158
<http://www.taisan.co.jp>
- 8) 平庄商店根室工場
〒087-0012 北海道根室市駒場町 3 丁目 11
Tel. 0153-23-5196, fax 0153-24-8928
- 9) 株式会社 藤井水産
〒087-0046 北海道根室市岬町 4-10
Tel. 0153-22-3010, fax 0153-22-2493
<http://www.fujiisuisan.co.jp>
- 10) マルタツ株式会社
〒087-0001 北海道根室市北浜町 1 丁目 14
Tel. 0153-24-8800, fax 0153-23-3874
- 11) 根室市漁業 HACCP 促進委員会
(事務局：根室水産物加工促進センター、水産経済部)
〒087-0032 北海道根室市花咲町 374
Tel. 0153-25-3311, fax 0153-25-3313
<http://www.city.nemuro.hokkaido.jp>

(了)